

# 市民の意見

発行：市民の意見30の会・東京

NO.144

2014/6/1

【毎偶数月1日発行】



発行者の住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12-305 TEL:03-3423-0185 FAX:03-3423-0266

共同代表：高橋武智 本野義雄 吉川勇一 郵便振替：00120-9-359506

eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30

\* 隔月刊・購読料・送料とも年2500円、一部400円、協力会費年5000円、敬老・障がい者会費年2000円、グリーン会費年1000円

## 未来への責任、9条実現

日本国憲法は、戦後の平和と繁栄の象徴。人権の保障と平和の維持を支える重要な役割を果たしている。しかし、近年、国際情勢の激変や国内の政治情勢の変化により、憲法の価値が揺らぎつつある。この危機を乗り越え、未来への責任を果たすためには、憲法の価値を再確認し、その実現に取り組む必要がある。

● 憲法の価値を再確認する  
● 憲法の価値を再確認する  
● 憲法の価値を再確認する

## 集団的自衛権は戦争への道

集団的自衛権の行使は、国際法上の問題であり、戦争への道を開く可能性がある。この問題をめぐって、政府と野党の間で激しい議論が展開されている。しかし、戦争は国民の生命と財産を脅かす行為であり、集団的自衛権の行使は、戦争への道を開く可能性がある。

● 集団的自衛権の行使は戦争への道を開く  
● 集団的自衛権の行使は戦争への道を開く  
● 集団的自衛権の行使は戦争への道を開く

## 市民の意見 144号 目次

◇市民意見広告「未来への責任、9条実現」

■特集1 若者へ贈る新「憲法読本」

日本国憲法の成り立ちについて

立憲主義とは何か

安倍流「日本を取り戻す政治」のデタラメ

若い世代の9条観

■特集2 原発は止める

福島——今こそ強い意志で見つめ直さねば

川内原発再稼働を止めましょう

推進派の心性を読む

◇座談会「アベノミクスと労働の現場」

◇ウクライナ情勢を読み解く

◇3・11と3・11が問うこと

■文化

連載エッセイ④「まわりまわって」

映画の紹介「罪の手ざわり」

本の紹介「家族、仲間、そして祖国」

グエン・ティ・ビン著 坂元良江

まんが ふしぎの国のありか④9 まつだたえこ

■情報

第13期市民意見広告運動の報告

会計報告

読者のおたより

編集後記

◆題字 安西賢誠